



kenkouhoken Kyoto

健康保険  
きょうと

全国健康保険協会 京都支部

2026

09

生活習慣病予防健診は  
費用も安く、検査内容も充実！従業員の健康は会社の財産！  
今年度の健診はお済みですか？

令和8年4月から新しい健診がスタートしています！

35歳以上の方に加え  
20、25、30歳の方も  
生活習慣病予防健診  
の対象に！35歳以上の方は  
人間ドック健診に  
25,000円補助！

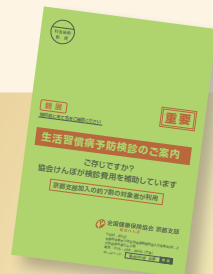
協会けんぽの補助を活用して、お得に健診を受診しましょう！

|       | 生活習慣病予防健診                       |                                |                                 | 人間ドック健診                                                                               |
|-------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|       | 一般健診                            | 一般健診(若年)※                      | 節目健診                            |                                                                                       |
| 対象年齢  | 35～74歳の方                        | 20、25、30歳になる方                  | 40、45、50、55歳<br>60、65、70歳になる方   | 35～74歳の方<br>自己負担額は各健診機関により異なります。<br>詳細はこちらから                                          |
| 自己負担額 | 約19,600円相当の健診が<br><b>5,500円</b> | 約8,900円相当の健診が<br><b>2,500円</b> | 約29,500円相当の健診が<br><b>8,280円</b> |  |

※一般健診(若年)は、一般健診の項目から胃・大腸の検査を省略した健診です。

[健診機関に直接お電話等でご予約ください。協会けんぽへのお申し込みは不要です。]

- 生活習慣病予防健診・人間ドック健診の補助は協会けんぽにご加入の被保険者様が対象です。
- 補助は年度内でいずれか1つのみ利用できます。併用して補助を利用することはできません。

健診補助対象者一覧やパンフレットは  
緑色の封筒で事業所様へお送りしています。  
お手元がない場合は再発行できますので  
協会けんぽ京都支部までお電話ください。

集合健診を実施しています

商業施設や公共施設などの会場で集合健診を実施しています。  
土日祝日に開催している会場もありますので、平日お忙しい方も受診しやすくなっています。各健診の検査内容や  
補助が使える  
健診機関一覧など  
詳細についてはこちらから職場内で掲示・回覧を  
お願いします。各種申請手続きは  
電子申請で！

詳細はこちら

けんぽアプリからも電子申請が可能です！  
そのほか健康情報もお届けしますので、  
ぜひご利用ください！

iOS



Android



(令和7)

# 協会けんぽ 2025年度決算(見込み)のお知らせ

## 2025年度の決算(見込み)の概要

2025年度の決算は**収入が12兆3,406億円、支出が11兆6,611億円、収支差は前年度から209億円増加し、6,795億円**となりました。

保険料収入は、賃上げや被保険者数の増加により前年度比4,057億円の増加となりました。保険給付費は加入者1人当たり保険給付費が増加した影響で前年度比2,818億円の増加となっています。また、拠出金等は後期高齢者支援金が増加した影響で前年度比1,634億円の増加となりました。

※ 詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

## 2025年度の決算(見込み) 医療分 (単位:億円)

|        |       |                 |
|--------|-------|-----------------|
| 収入     | 保険料収入 | 110,546(+4,057) |
|        | 国庫補助等 | 12,383(+693)    |
|        | その他   | 477(+132)       |
|        | 計     | 123,406(+4,881) |
| 支出     | 保険給付費 | 75,369(+2,818)  |
|        | 拠出金等  | 37,829(+1,634)  |
|        | その他   | 3,413(+220)     |
|        | 計     | 116,611(+4,672) |
| 単年度収支差 |       | 6,795(+209)     |

※ ( )内は、前年度比

※ 支出の「その他」は下図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計

### 保険給付費 64.6%

協会けんぽが医療機関に支払う費用や、傷病手当金等の支払いに要する費用

### 高齢者医療への拠出金等 32.4%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。

### 健診・保健指導経費 1.5%

### 協会事務費 1.0%

### その他の支出 0.5%

支出

約11.7兆円

収入

約12.3兆円

### 保険料収入 89.6%

被保険者・事業主の皆さまに納めていただいている保険料

### 国からの補助金 10.0%

### その他の収入 0.4%



## 2025年度の決算は黒字でしたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

協会けんぽの財政は、当面、賃上げ等により保険料の増加が見込まれるものの、

- ✳ 現在の不安定な世界情勢が我が国の経済社会に及ぼす影響が不透明であり、これまでのような**保険料収入の増加が中長期的に継続するか予測が難しいこと**
- ✳ 協会けんぽ加入者の平均年齢の上昇や医療の高度化等により**保険給付費の継続的な増加が見込まれること**
- ✳ 団塊の世代がすべて後期高齢者になったことにより**後期高齢者支援金**が中長期的に高い負担額のまま推移することが見込まれること

等に留意が必要と考えています。

また、医療費については、物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化に対応するため、2026(令和8)年度診療報酬改定において、診療報酬(本体部分)の改定率が3.09%(2026年度:+2.41%、2027年度:+3.77%)と高い伸び率とされ、2026年6月以降の医療費に反映されることなどから、今後の動向を注視する必要があると考えています。

※ 2026年度は平均保険料率を10.0%から9.9%に引き下げたほか、国から交付される国庫補助が2026年度から3年間減額されることとなっています。

発行者



全国健康保険協会 京都支部

京都市下京区四条通麩屋町西入立売東町28-2 大和証券京都ビル2階

☎ 075-256-8630(代表)

受付時間 8:30~17:15(土日祝・12月29日・1月3日除く)